

令和6年度 大館市立城南小学校 学校評価書（前期・年度）

A 学校教育目標

ふるさとに学び、どの子どもも喜んで活動する学校

B 目指す学校像

- 1 児童一人一人が自分の幸せを支える力を高める学校
- 2 保護者が安心して我が子を送り出せる学校
- 3 職員が自ら磨き、チームで子どもの成長を支える学校
- 4 地域に笑顔で協力してもらえる学校

C 学校経営の特徴

- 1 響学プラス シンカする授業づくり
○主体性と学び合いのある授業づくり
○ICTを活用した響学プラス
- 2 一人一人を伸ばす 集団を伸ばす
○挨拶・返事・言葉遣い等、生活の基本的な約束の徹底
○所属感、有用感がもてる児童会活動
- 3 ふるさとの未来につなぐ今
○変化する時代や社会に目を向けたプロジェクトJの推進
○地域人材の積極的な活用



自分の気持ちを表現 ～学習発表会～



伝統の城南オリンピック



学校のシンボル いちょうの木 ～全校落ち葉清掃～



みんな楽しみ ～読み聞かせスペシャル～

D 評価

ア 児童の 状況	自己評価Aと 外部評価の 評価区分	きわめて良好 良好 おおむね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価Bの 評価基準	5 4 3 2 1	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成 実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成 実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成 実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成 実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成
----------------	-------------------------	---	----------------	-----------------------	---

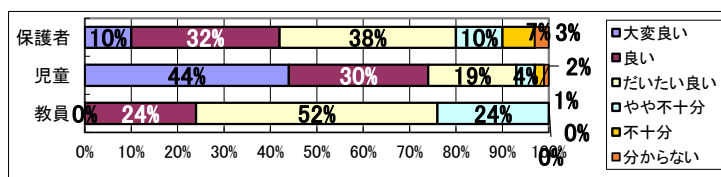
I 自主的・自律的な生活

児童の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
明るく心のこもった挨拶をし規律ある落ち着いた生活を送りながら、主体性や責任感をはぐもうとしている。	前期 やや不十分 年度 やや不十分	やや不十分 おおむね 良好	4・5・6年の一部の児童の集中力のなさが目立つ授業が見られた。また、同じ学年でも学級による雰囲気の違いも感じられた。一部の児童や保護者への対応は大変だと思うが、毅然とした対応が必要である。2学期になり、学担を曜日によってチェンジするなど、対策をとっているようなので、今後の改善に期待したい。学担以外でも、この先生とならしっかりと話ができるという関係性も大切にしたい。 「知らない人にはついて行かない。不審者には気を付けよう。」と言われていた時代に、地域の人にも自分からしっかりと挨拶しようとしている児童の頑張りを認めてあげたい。学校が楽しい、人の喜ぶ顔が見たいから頑張っている活動しているという児童の良いところを更に伸ばしていける学校であることを期待している。
学 自 校 己 の 評 価 の 改 善 の 策 要 と	【前期(一年度)】(1)についてあいさつマスターの表を活用しているが、校内外での挨拶レベルは弱いと感じる。「されて嬉しく感じるのはどんな挨拶かな。」と、集会や学級での話し合いを通して、必要感をもたせる指導を徹底したい。(2)(3)について一学年目標を意識しながら、様々な活動に取り組むことができた。集会や給食時間の放送、生徒指導便りを使って安全指導の啓発をしているが、児童が自分事として考え、実践できているとは言い難い。児童会活動では、メディアに関わる「ぼく・わたしたちのマイルール」をつくった。ルール遵守の指導とともに、児童が主体的に決めたルールを基に、自分たちの行動を見つめていくことができる活動の充実を図りたい。 【年度(一次年度)】あいさつの取組について生徒指導通信で紹介したり、名前を呼んであいさつできるように先生方もオリジナルの名札を着用したり、年間を通してあいさつマスターの取組を工夫、継続している。学級活動でも、各種行事でも、子どもたちの頑張りはよく見える。しかし、これまでに成長してきた子どもたちのよさが、いつでも、どこでも発揮できたかという不安は残る。その場限りの指導だけでなく、頑張りを認めて、次につながる声かけや細やかな指導が必要だ。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣	(1)校内外での元気な挨拶 (2)規律ある落ち着いた生活	挨拶運動(児童、保護者、職員)、「めざせ！城南あいさつマスター」の実施、学級活動や集会など学校生活全般を通じた指導 社会規範やルール遵守の指導(城南っ子生活の約束、生徒指導通信)	2	3
2 集団生活・集団活動	(3)集団の一員としての自覚ある言動	学級活動の充実、当番活動、係活動、各種行事、委員会活動の推進、学年集会の実施、ふれあい集会、城南オリンピック	3	3

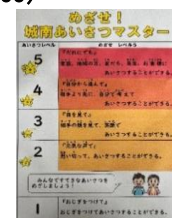
[1]に関するデータ

○自分から進んで、地域や学校であいさつしているか。(平均値 保護者3.22 児童4.07 教員3.00)

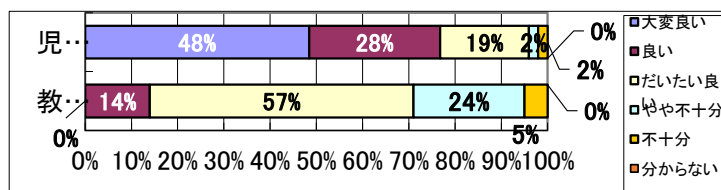


【あいさつの視点】

あいさつマスターの奨励。
レベル5...だれにでも
レベル4...自分から進んで
レベル3...目を見て
レベル2...元気な声で
レベル1...おじぎをつけて



○きまりを守って落ち着いた学校生活を送っているか。(平均値 児童4.17 教員2.81)

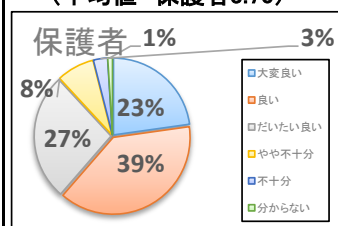


◇ぼく・わたしたちのマイルール(児童会)
*メディアに関わるルール
◇「城南っ子生活の約束」の配付
◇学年集会の開催・昼の放送での呼びかけ
◇生徒指導通信「城南っ子」の配付
◇委員会による呼びかけ

[2]に関するデータ

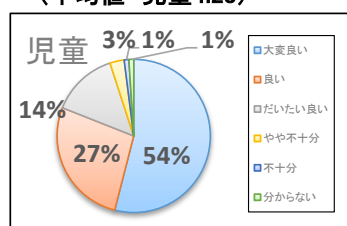
○子どもは、学校が楽しいと話しているか。

(平均値 保護者3.70)



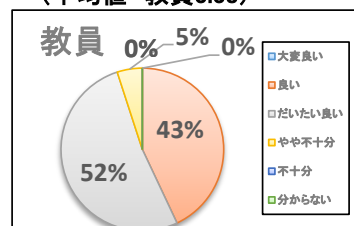
○学級みんなのために、係や当番、委員会の仕事をがんばっているか。

(平均値 児童4.28)



○集団の一員としての自覚ある行動をしているか。

(平均値 教員3.38)



【城南オリンピック開催】
ペア学年を組み、上学年が下学年をサポートする体制をつくる。



【国語や図工の教科を生かして】

6年生の学習内容に、1年生に向けて紙芝居を制作して披露したり、一緒に遊んだりするものがある。多くの機会を捉え、下学年との関わりを大切にする。



ア 児童の状況

Ⅱ 思いやりの心・たくましい心

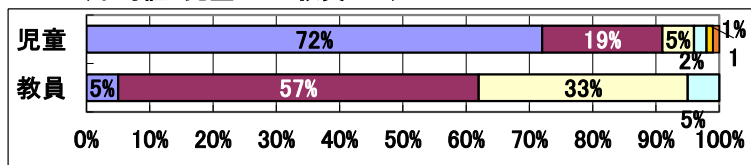
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
自分のよさや他人のよさを認め合い、切磋琢磨した学校生活を送り、豊かな人間性をはぐくもうとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	縦割り班掃除をとてうまくやっているように思う。道徳の授業が全員参加という雰囲気がいと思う。帰りの会が悪口の言い合いになっているというのは本当だろうか。
	年度 おおむね良好	良好	キラッとさんの見える化の継続は良いと思う。縦割り班掃除の習慣も良い。運動会等の行事での学年をまたいだ活動へのきっかけとなっていると思う。不登校・保健室登校等、難問が山積みのようなのだが、教師の熱意は感じられる。全体で足並みを揃えた指導や対応が奏功しているものと思われる。今後も粘り強い指導をお願いしたい。
校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(→年度)】(4)(5)について→「キラッとさんロード」を継続し、児童同士で認め合う場をつくり、お互いに目に見える掲示をしている。生徒指導通信を活用し、保護者にも紹介している。この活動がマンネリ化にならないよう、工夫して取り組む必要があるし、児童の居場所づくりと絆が深まる学級経営を促していく。道徳指導については、授業の学びが子どもたちの実生活に結びつく学びになるように、授業の充実を図っていきたい。(6)について→特に問題行動や支援を要する児童への対応について、一人一人の困り感に寄り添いながら関わる必要がある。「自分がされていやなことは人にしない、言わない」ことを対話を通して児童に気付かせていけるように、より職員間の情報共有を密にし、チームで対応できるように継続して指導にあたりたい。 【年度(→次年度)】キラッとさんの「見える化」は継続している。縦割り活動でも委員会活動でも「こんな学校にしたい」と、子どもが主体的に取り組む意識を向上させることが必要で、教師側の投げかけや見通しがより大切になると思う。前期に比べて情報交換の場や相談内容、対応について綿密にできるようになってきた。全体で足並みを揃えた指導対応は、常に確認しながら進めていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B 前期	年度
3 自他の理解	(4)自己有用感の育成	人間関係づくり(学級活動など)、縦割り班活動、集会活動、なかよしアップタイム、一人一人のよさを認め合う場の設定(キラッとさんロードの設置)	3	3
	(5)道徳性、道徳的な判断力等の育成	道徳科の授業の充実、各教科等との関連的指導の充実		
4 児童理解	(6)学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応	職員会議での情報交換、教育相談、校内特別支援委員会、アンケートや調査の実施と事後指導への活用、「ホウレンソウカード」による校内生徒指導体制の強化、チームによる即時対応	3	3

【3に関するデータ】

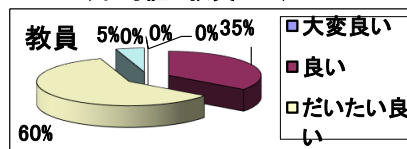
○友達と仲良く生活しているか。

(平均値 児童4.54 教員3.62)



○道徳の時間の充実

(平均値 教員3.30)

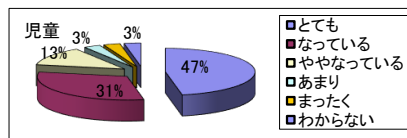


◇キラッとさん(帰りの会での発表紹介、学校・お家キラッとさんの活動)
⇒キラッとさんロードへの掲示

◇なかよしアップタイム(縦割り班による活動)の実施(学期に1回)

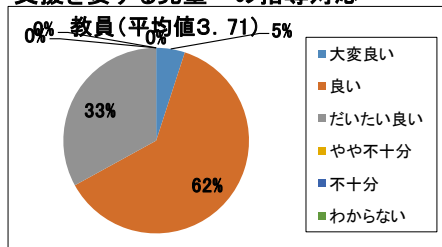
◇ふれあい集会、1年生と仲良くなろう縦割り班集会など各種集会や
縦割り班掃除・全校おにごっこでの交流や関わり

○道徳の授業は自分にプラスになっているか。(児童4.07)

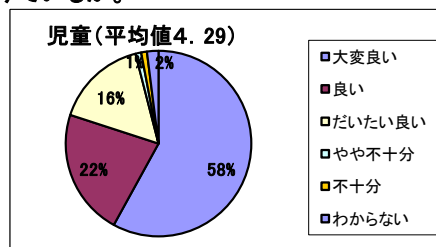


【4に関するデータ】

○学校全体での生徒指導の充実と支援を要する児童への指導対応



○あなたは友だちの良いところや頑張ったことを見つけあげているか。



◇教育相談

◇いじめ調査アンケートと教育相談

◇職員会議での情報交換

◇特別支援教育委員会の開催

◇いじめ・不登校対策委員会の開催
と機を逃さない対応



「キラッとさんロード」
～1年間積み重ねる～



縦割り班で行った「なかよしアップタイム」
～イベント委員会主催～

ア 児童の状況

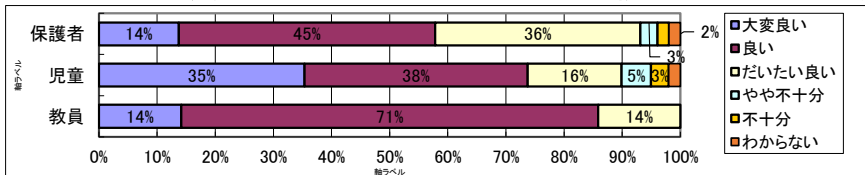
Ⅲ 健康と体力

児童生徒の状況		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
食や運動を通して、健康や体力への関心をもち、望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	早寝早起きの基本的な生活習慣が確立されているという意見が大多数である。健康は身体があってこそ学校作りができてきくと思う。体を動かし、よく食べて、心身共に健康な児童の育成に今後も努めてほしい。メディアコントロールについてマイルールを作る、守ることに学校としての取組を期待している。
	年度	おおむね良好	良好	早寝、早起き、朝ご飯を食べているかについては、教員の評価も高く、給食では、好き嫌いをしないで食べているかでは、児童の評価が高い。年間を通して指導している成果と考えられる。自ら進んで体を動かしよく運動しているかでは、保護者、児童とも評価が高い。楽しく遊びながら体力の向上に結びついている。寒い時期であるが、今後も工夫しながら運動量を確保したい。早寝、早起きやメディアコントロールなどは、基本、家庭のしつけだと思うが、諸般の事情から困難な家庭が増えている。関係機関と連携しながら、家庭への啓蒙活動などにも期待したい。
校自己改善の概要と学	【前期(一年度)】運動する機会の保障だけでなく、「健康」に関わる広い分野(運動、食育、保健衛生等)を踏まえた「体力の向上」をねらいとしている。城南スポーツタイムの種目は、城南スポーツ委員会の児童が体力向上の観点から話し合い、内容を決定している。5月は「跳」の運動能力の向上とロープジャンプとの関連を狙い、長縄跳びを取り入れた。また、昨年度に引き続き「全校鬼ごっこ」を実施した。異学年交流や運動の機会の確保の点から、今年度はJタイムの時間を使っての全員参加の活動としている。後期も安全面に配慮しながら、継続して全校児童が運動の習慣を身に付けられるように取り組んでいきたい。食育に関することでは、「バランスペロリン週間」を行い、少しでも好き嫌いせずに栄養のバランスを考えながら食べるように指導した。後期も実施し、前期からどれくらい食べられるようになったのかを実感させ、自信を付けさせていきたい。保健衛生については、児童会で議論し定めたメディアコントロールについての約束事(「ぼく・わたしたちのマイルール」)と、9月のメディアコントロール週間に関連付け、メディアとの向き合い方を考える機会の確保や取組を行ってきたい。			
	【年度(一学年度)】体力づくりでは、自分から運動を楽しむ手立てを工夫したことで、児童の運動の機会を作ることができた。食育では、「前回よりも残量を減らすことができた」という達成感をもたせることで、少しでも給食を食べようとする意識を生むことができた。どちらも継続して行っていきたい。健康的な生活習慣については課題が残るため、取組の徹底と強化、家庭との連携などを図りながら児童の健康な体づくりを目指していきたい。			

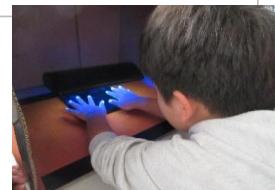
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
5 保健衛生・食育	(7) 健康的な生活習慣の向上 (8) 望ましい食習慣の形成	メディアコントロール週間、清潔力アップday、ガラガラあわあタイム、保健だよりの工夫、委員会活動、家庭との連携、養護教諭の保健指導 食育および給食指導、委員会活動、バランスペロリン週間、給食試食会、わんだふる給食PR	3	3
6 体力づくり	(9) 継続的な体力づくりの実践	パワーアップ運動と教科体育の充実、城南スポーツタイム①～③、外遊びイベント	4	4

【5に関するデータ】

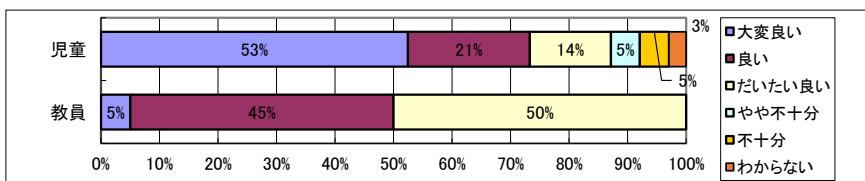
○早ね・早おきをし、朝ごはんをたべているか。(平均値 保護者3.62 児童3.89 教員4.00)



委員会児童による、全校集会でのメディアコントロールの呼びかけ。

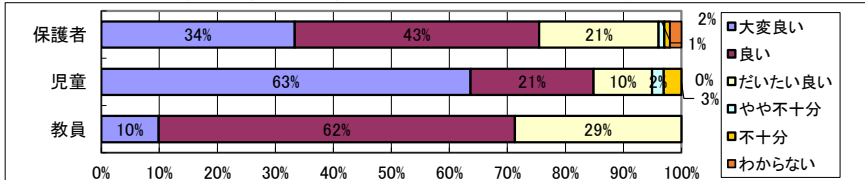


○給食では好き嫌いをしないで食べているか。(平均値 児童4.07 教員3.55)



【6に関するデータ】

○自ら進んで体を動かし、よく運動をしているか。(平均値 保護者4.04 児童4.39 教員3.81)



3年生の手洗い指導。ブラックライトに手をかざし、どんなところに洗い残しがあるのかを確かめました。



「縄跳びチャレンジ」
体育館やホールで縄跳びをしました。チャレンジカードに色を塗りながら、たくさん跳びました。

体力向上	食育	保健衛生
9月：城南スポーツタイム 12月：縄跳びチャレンジ (チャレンジカード)	9月：バランスペロリン週間 委員会からの呼び掛け	9月：メディアコントロール週間 11月：手洗い教室(3年生) 12月：大掃除、歯の健康教室(5年生) がらがらあわあタイム 定期：清潔力アップデー
○城南スポーツ委員会の児童考案の下、児童が安全に楽しく運動できた。 ○縄跳びチャレンジでは、チャレンジカードを用意したり、体育館割当のない時間は空き教室などを活用したりしたことで、運動量の確保に繋がった。	○1回目の残量と比較し、残量が減ったと達成感を味わうことで、10月は少しでも好き嫌いをなく食べようと頑張る児童が多く見られた。	○「清潔力アップデー」や「がらがらあわあタイム」によって、ハンカチ・ティッシュの携行、風邪予防の意識が高まった。 ○メディアコントロールはさらなる家庭と連携が求められる。 ○手洗いや歯の大切さについての理解が深まった。

ア 児童の状況

Ⅳ 基礎学力

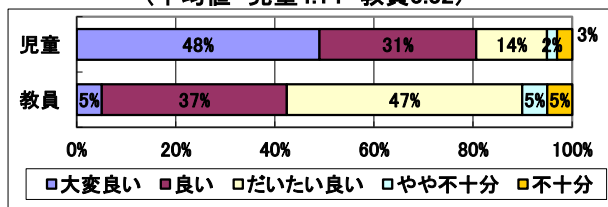
児童生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
主体的に授業に臨み、基本的学習習慣や学び方を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期 おおむね良好 年度 おおむね良好	おおむね良好 良好	児童の状況に合わせて「学習スタンダードJ」をもとに、職員一丸となって取り組んでいるが、定着には時間がかかるので、継続して指導してもらいたい。進んで発表している児童が多いが、なかなか手が挙がらない児童もいる。もっと増えるように励ましてほしい。 リラックスタイムの導入により、午後の授業に落ち着いて取り組める児童が増えている。集中力がアップし、学習状況調査の成績が向上したのだと感じた。150周年行事やCMづくりを通して、こどもたちの思考力や表現力が高められ、さらなる学力向上も期待できる。普段のしつけや生活指導とも密接な関わりがあると思うので、組織的で丁寧な指導の継続をお願いしたい。
と 自 学 己 校 評 の 価 改 の 善 概 策 要	【前期(→年度)】(10)について→基本的学習習慣の定着のため、全校で共通した指導ができるよう、4月に「学習スタンダードJ」をもとにオリエンテーションを行った。しかし、「チャイムで学習を始める」、「返事ははいっ！」など、基本的なことの定着に時間がかかっている。喫緊の課題として各学年、各学級に必要な手立てを考え、全校で取り組んでいきたい。(12)について→今年度も国語科と関連させながら朝の会やJタイムにスピーチタイムを設定し、テーマや課題について職員間で情報交換しながら話す・聴く力の向上に努めている。6月に行った学年スピーチタイムでは、学級外の友だちとも交流し、自分の考えを意欲的に話す子どもの姿を見ることができた。 【年度(→次年度)】(10)について→基本である「チャイムで学習を始める」に関しては、「次の時間の準備をしてから休憩すること」を全校で意識して取り組んだ。チャイム席ができるようになった児童がほとんどであった。次の学年を見据え、これからも「学習スタンダードJ」の徹底に力を入れていきたい。(11)について→今年度も継続して全校一斉テストを行った。各学年で宿題を工夫することで、テスト勉強の仕方について指導をしてきた。しかし、年4回と少なく、範囲も広くなことから、十分に学習内容を定着できなかった児童もいた。来年度はテストの実施方法について見直したい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B 前期 年度
7 学習への取組	(10)基本的学習習慣の定着	学習のきまりの指導、家庭学習の奨励(全校ノート展の実施)	3 3
	(11)基礎・基本の確かな定着	ねらいと評価、振り返りを大切にしたい分かる授業づくり、全校一斉テストの実施	
	(12)言語活動の充実	授業における学び合い、シンカタイムの充実、ICTスキルの向上と活用、スピーチタイムと反応言葉の活用、振り返りの充実	
	(13)読書活動の充実	読書・読み聞かせの推進、図書館経営、情報活用の充実	

〔7に関するデータ〕

○学習のきまりを守って学習しているか。

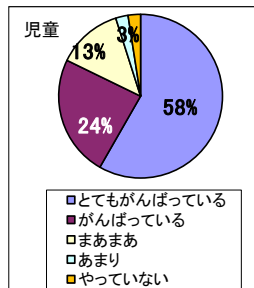
(平均値 児童4.14 教員3.32)



○家庭学習をがんばっているか。

(平均値 児童 4.25)

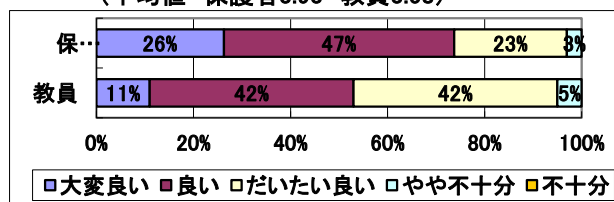
(平均値 保護者3.68)



- ◇学習のきまりの徹底
 - ・「学習スタンダードJ」の共通理解と指導
- ◇家庭学習ノート紹介
 - ・PTAに合わせてノート展開催

○基礎・基本の確かな定着が見られるか。

(平均値 保護者3.93 教員3.58)



○言語活動の充実を図っているか。

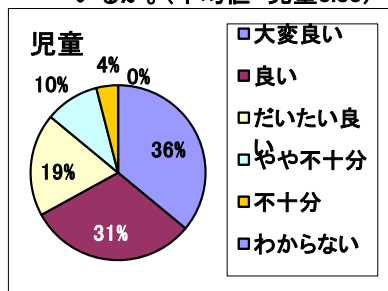
(平均値 教員3.58)

- ・主に国語科を中心にした学び合い
- ・学習内容や発達段階に応じた学習の工夫
- ・スピーチタイムの実施やシンカタイムの話し合い

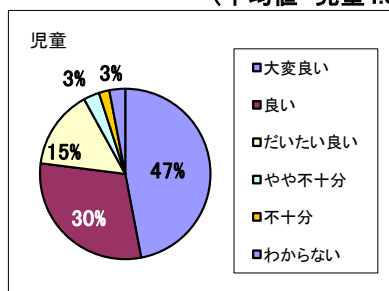
○読書習慣の定着

(平均値 児童4.04 教員4.00)

○授業で、進んで発表や反応をしているか。(平均値 児童3.83)



○個に応じた学習で勉強が分かるようになったか。(平均値 児童4.08)



個に応じた学習の取組の例

- ・3～6年に算数の2C3Tまたは1C2Tを実施
- ・放課後や長期休業中の個別指導
- ・ICTの活用

～ミニ討論会～

学習スタンダードJをもとに、聴き方・話し方を練習

イ 学校運営 の状況	自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
		良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
		おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
		やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
		努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 組織運営				
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
重点目標の具現化に向けて、教職員がチーム城南として連携し、組織的・主体的に取り組んでいる。	前期	おおむね良好	おおむね良好	情報の共有化については、後期も継続して取り組んでもらいたい。学担も1組と2組を交替しながら、子どもたちの指導に当たっているのが「気持ち」もあるというプラス面で効果があるということなので、継続して実践してもらいたい。ふるさとキャリアに関しては「ふるさとを知る」という観点からいろいろな体験をさせてほしい。ICTに関しても、ICTありきにならないよう心がけているということから、子どもたち主体で有効活用してほしい。
	年度	おおむね良好	良好	ふるさとキャリア学習においては、各学年とも学校を通じた発信を実践している。6年生においては、「ふるさとCM」で16班に分かれて地域の特産品を学び、CMにつなげており評価できる。学校の経営方針を全職員で共通理解し、実践しようとしているので、次年度も継続して取り組んでもらいたい。ICTの活用については、「効果的」という部分にまだ課題があるとのことなので、引き続き子どもたちを主役として有効に活用してほしい。
校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(一年度)】経営方針を全職員で共通理解実践しようとしている。各指導部が中心となって新しい取組を提案するなど、先生方も常に前向きである。今後は、子どもが城南っ子基本3行動について考え、自分たちがよりよい学校をつくっていくのだという気概を育てたい。ふるさとキャリア教育については、テーマは同じでもアプローチを変えるなど、工夫が見られる。今年度も学びの発信に重点を置いているため、客観的に評価していただく場面を設け、活動の改善につなげたい。授業については、教師の教材研究をしっかりと行い、ねらいの達成にむけ、これまで培ってきたICTスキルをより効果的に活用するなど、基礎基本の定着に努めていきたい。			
	【年度(一次年度)】課題を抱えている児童が多い中、経営方針や具体的施策については、児童のために考え、全職員で共通理解し実践しようとするのができた。ふるさとキャリア教育では、本校の6年間の集大成として作成しているCMを、今年度、秋田県ふるさとCM大賞に応募し、皆さんに見てもらうことで児童の自信を深めることができた。授業では、ICTを効果的に活用することを目指していたが、「効果的に」という部分にまだ課題がある。来年度も個別最適な学びの充実に向け、足並みを揃えた取組をしていきたい。			

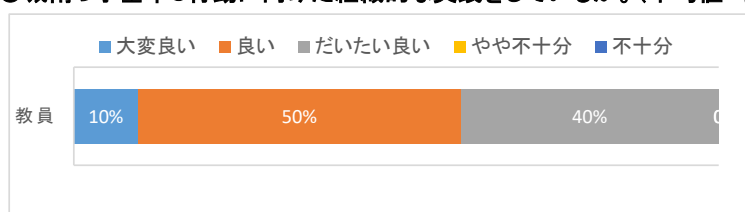
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 学校の明確な経営方針	(14)経営方針や重点目標、施策の明示	職員会議、PTA総会等での周知、校報での明示	4	3
9 教育課程の編成と実施	(15)城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践	指導部による具体的な施策の提案、学年部による継続した実践	3	4
10 職員研修	(16)特色ある教育課程の編成と実施	ふるさと・未来をつくる力を意識したふるさとキャリア教育の推進	3	3
	(17)授業改善と指導力の向上(2つのICTで)	ICTを取り入れた授業研究、校内研・諸研修への参加、学年部での教材研究	3	3

【8に関するデータ】

○経営方針や重点目標、施策の明示(平均値 教員3.70)

教員 大変良い(5%) 良い(65%) だいたい良い(25%) やや不十分(5%) 不十分(0%)

○城南っ子基本3行動に向けた組織的な実践をしているか。(平均値 教員3.70)

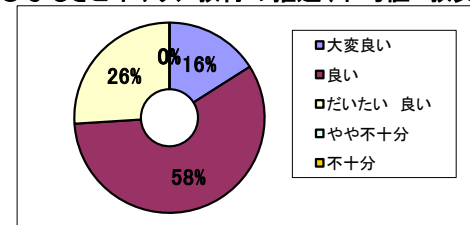


城南っ子基本3行動

- いつでもよく聴き、相手の話に反応します。
- どこでも安全に気を付け、命を守ります。
- だれにでも気持ちのよいあいさつと返事をします。

【9に関するデータ】

○ふるさとキャリア教育の推進(平均値 教員3.89)

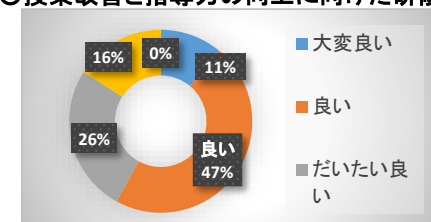


○今年度の活動例

- ・3年 わがまち大館調査隊:大館市の自然、行事や伝統等の調査
- ・4年 やさしい大館づくり隊:エコタウン大館やバリアフリー施設等の調査、講話や体験
- ・5年 プロジェクトJV:大館で働く方々からの講話や職場体験
- ・6年 プロジェクトJファイナル:大館の食をCMで発信

【10に関するデータ】

○授業改善と指導力の向上に向けた研修(平均値 教員3.53)



○授業研究会の実施(予定含む)

- 6月:算数科研究授業(2年 4年)
- 9月:総合的な学習指定訪問(3年)
- 11月:算数科研究授業(6年)
- 2月:算数科研究授業(5年)



イ 学校運営の状況

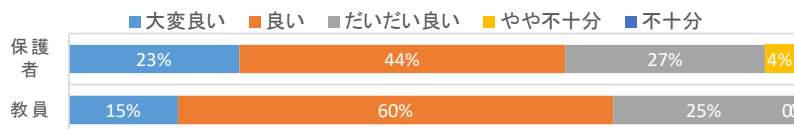
Ⅵ 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期 良好	良好	児童数は年々減少しているが、学校内外で児童が関わる大人の数は増えているように見受けられる。読み聞かせ等、継続している活動が読書の関心を高め、児童の世界を広げることにもつながっていると感じる。今後も学校地域応援団として協力を呼びかけ、児童の新しい面を引き出し、育てる場の一つと考えたい。
校 自 己 改 善 価 値 の 概 要 と 学	年度 良好	きわめて 良好	創立150周年の節目としての事業をはじめ、学校報「わが城南」もとても分かりやすく学校や児童の様子を伝えている。特に課題にされていたホームページやブログの更新にも積極的に取り組み、保護者地域の連携について、組織全体で取り組まれていることを高く評価する。地域への情報発信、地域の人材活用など、地域と連携した取組を次年度も様々な計画して行っていく。
【前期(一年度)】	学年だより(2週間に1回)や学校だより(月1回)の発行を行っている。また、おたより等を学校ホームページに掲載したりブログ(ほぼ毎日更新)でも子どもたちの学校での様子を紹介したりしている。印刷すると写真が不明瞭になるので、カラー版のホームページでの閲覧も勧めている。保護者からは、見たいときにおたより等を見て確認できると好評である。また、様々な学習場面(正課クラブや朝の読み聞かせ、生活科や総合的な学習の時間、学校行事、登下校の見守り等)で保護者や地域の方々に積極的に協力を求め、学校だけではできない活動を安全で充実したものに行っている。		
【年度(一次年度)】	今年度は、学習発表会の全校合唱を復活させ、コロナ禍以前と同様に実施することができた。また、たくさんのご来賓の方々、地域の方々がおいでくださり、たくさんのお手伝いをいただき、児童の励みとなった。学年の学習等でも、引率等でたくさんの方々の協力のおかげで、学校だけではできない活動を安全で充実したものに行っている。来年度も地域の方々と連携を密にし、見守っていただきながら学校運営を進めていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B 前期	年度
11 情報の受 発信	(18)積極的な情報発信と情報収集	校報・学年通信の充実、ホームページによる情報発信、PTA諸会合、地域訪問、個人面談、民生委員と語る会、保護者アンケート	4	4
12 地域の教育 力の活用	(19)PTAとの連携強化 (20)コミュニティスクールの趣旨を生かした教育力の活用	学校行事・諸活動等へのPTAの参画及び協力(一人一役・挨拶運動) 地域学習の充実、保護者・外部講師による学習支援、学校運営協議会	4	4

【11に関するデータ】

○行事や子どもたちの学校での活動の様子を分かりやすく伝えているか。(平均値 保護者3.88 教員3.90)



- 学校ホームページ
学校報毎月更新
学年だより隔週更新
- ブログの更新 ほぼ毎日
- 学年だより 2週間に1回発行
- 学校報 毎月24日頃発行
※各町内へ回覧用に配付
一部の町内では全戸配付

- 授業参観 4月13日 7月5日 12月6日 2月28日
- 祖父母参観 7月5日
- 個人面談 7月23日～26日(全児童対象) その他 随時
- 学習発表会 10月12日



12月
授業参観

【12に関するデータ】

○学校行事や諸活動に保護者の協力を得るよう、十分な働きかけをしているか。(平均値 保護者3.82 教員3.95)

- 保護者 大変良い(19%) 良い(46%) だいたい良い(29%) やや不十分(3%) 不十分(1%) わからない(3%)
- 教員 大変良い(15%) 良い(65%) だいたい良い(20%) やや不十分(0%) 不十分(0%)

○家庭や地域の教育力を、学校の教育活動に積極的に活用しているか。(平均値 保護者4.19 教員4.00)

〈学校支援活動事業〉

- ・学習指導への補助・・・読み聞かせ(毎週木曜日 ※読み聞かせボランティア)
- 校外学習の引率補助



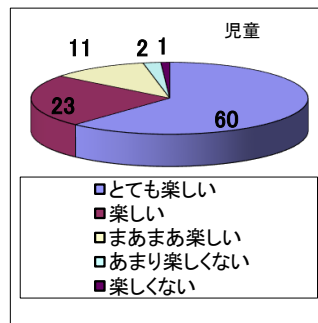
読み聞かせスペシャル



全校合唱の復活



ミシンボランティア



- ・正課クラブ活動・・・英語、パソコン、お茶、ダンス、手話、将棋
- ・行事等への支援・・・あいさつ運動、交通安全指導

学校の外に出かけたり、地域の方と一緒に勉強や活動したりするのは楽しいですか(平均値 児童4. 31)